

秋季セミナー・現場見学会特集

秋季セミナー

オリンピックも後3年という事で非常に突貫工事になっている中、働き方改革等の問題で各現場で苦勞されていると思います。そのため、国交省、厚労省の方々との意見交換会で働き方改革の残業時間、年間の休日についての問題点で、トンネルは特殊なのだという話をしてあります。オリンピックの国立競技場の建設では過重労働による自殺者が出ましたが、現場では実際に仕事をやらなければならない状況になっています。トンネル工事でも国交省はある程度理解しているものの、JR TT、ネクスコ、民間の発注者についてはあまり浸透されていないというのが実状です。人材不足については、技能員の労務単価は上がっていますが、会社の経営についてはなかなか厳しいです。工程的な問題や経費の問題などについて国交省、厚労省の幹部の方に我々の声を届ける努力をしており、先日横山副会長が事務次官に意見を具申されました。

切羽の肌落ち防止については、ガイドラインが新しく発出され、切羽監視責任者を専門に配置するよという文言が50㎡以上の断面という条件で付け加えられました。我々専門協として20㎡以上という形でお願い致しましたが、小さな断面では逆に危ないということで50㎡以上となったのだと思います。現在、肌落ち災害はだいぶ減ってきているものの、最近でも新幹線の工事で陥没がありました。トンネル災害については更に見直さなければなりません。

こちらは報告ですが、来年からトンネル建設労働者健康管理システムが検討されます。難聴と振動病は入っていませんが、じん肺健康診断を国で管理出来るシステムを作りたいということで、建災防が委託され実施する形になります。各社で行っている健康診断の管理を国が行っていくという事です。各社で実施している事を報告すると、建災防の方で資料を保存するので、何回も健康診断をやらずにすむようになるのではないかと思います。今後、厚労省主催の委員会にトンネル専門協のメンバー2名も参加し、活用方法を検討していきます。

また、粉じん測定に関して原告団の弁護士の方、医者、厚労省、国交省、機械メーカーが30人くらい集まった委員会があるのですが、それに参加し実態を話しました。今、粉じん測定は切羽から50mとなっていますが、もっと細かく測定しての実態調査が来年から行われる予定です。粉じんの実態が切羽と50m位置とでは違うことを原告団に指摘されると思いますので、改善していかなければなりません。また、ナトム工法をやる限り吹付けの粉じんは発生するので、機械の改善をメーカーの方々にも協力して頂きたいです



行政講演

※お役職は平成29年9月27日現在です



『労働時間管理について』

中山労働安全衛生管理事務所長（元三田労働基準監督署長） 中山 篤 様

初めに“電通過労自殺事案”、“国立競技場工事での過労自殺”等、最近における労働時間をめぐる諸情勢に鑑み、企業リスクが非常に高くなっている旨の解説がなされました。

引き続き“働き方改革”を柱とした長時間労働に対する行政サイドの対応強化や、それに呼応した完全週休二日制等建設業界の時間短縮に対する取り組み事例が紹介されました。

また、トンネル工事の坑内労働時間に対して、変形労働時間制の必要性やメンタルヘルスケアの強化策について言及して頂き、非常に有意義な講演となりました。

調査研究報告

労務安全衛生専門委員会：『学生向けトンネル業界PRパンフレット“山の神って美人らしいよ！”』

技術・情報委員会：『元・下請負契約に関するアンケート調査報告』

施工環境委員会：『山岳トンネル工事における重機に関わる重篤労働災害防止対策』

来賓挨拶要旨

※お役職は平成29年9月27日現在です

国土交通省 大臣官房 技術調査課長 石原 康弘 様



働き方改革、建設職業病の健康、安全問題、まだまだ建設業に携わる者の課題が多く出てきています。皆様方が良い仕事ができるように、あるいは健康で働けるよう、叱咤激励をして頂きまして我々の足りないところは補っていきたいと思っております。

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 専門工事業・建設関連業振興室長 高田 龍 様



昨今、少子高齢と言われる中、将来の担い手を確保するために働き方改革を進めていかなければなりません。若い人の入職者、担い手確保の点から。適切な工期設定、長時間労働の是正、週休2日の推進が必要です。技能労働者の処遇改善、適正な賃金確保、週休2日制に伴う社会保険推進の確保にも引き続き注力してまいりたいと思います。

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課長 奥村 伸人 様



厚生労働省が取り組んでいるテーマに「受動喫煙の防止」や「働き方改革」があります。働き方改革については、関係法案を既に国会に提出しており、成立施行しましたら、5年後に建設業でも時間労働の上限規制が適用される動きになっております。とはいえ、建設業に関しては日建連の自主的な取り組みで、週休2日制の導入、自主的に上限の自主規制の取り組みなどを想定しております。この目的は悲惨で痛ましい過重労働による自殺を防止するだけでなく、建設業に優秀な若い人材が定着するよう職場の労働環境を良くする事を目的としております。

一般財団法人 建設業振興基金 専務理事 伊澤 透 様



担い手確保育成、建設産業の経営基盤の強化に対し、組織の総力を上げて応援をするという事を、経営の基本方針としております。又、組織としては、経営基盤支援センター、試験支援本部、さらに去年からは建設キャリアアップ運営施設を要し、応援させて頂いております。

その中で是非紹介したいのは、山岳トンネルに関する職業能力基準の策定に向けてご支援を賜っているところでございます。職業能力基準を職種毎に策定し、技能労働者の能力を適正に評価する、そこを通じて人材の各育成が確かに計られていくことを期待しております。

一般社団法人 日本建設業連合会 常務理事 谷田海 孝男 様



10月を粉じん障害防止強調月間と定め、日建連が主催し国交省、厚労省のご支援を頂きながらじん肺ゼロを目指した活動を実施しております。具体的には、会員企業の全トンネル現場にリーフレットとポスターを配布すると共に、現場点検パトロールを行っております。じん肺罹患者は減りましたが、現場に行きますとまだまだ電動ファン式マスクの使い方、取り扱いが適正でないという人がおられますので、皆様の現場においても再点検、趣旨の徹底をお願いします。

現場見学・研修会

平成29年10月13日(金)～14日(土)に野崎会長他総勢59名参加して北海道新幹線後志トンネル(落合)工事及び後志トンネル(北上沢)工事で現場見学研修会が開催されました。

最初に発注者JRTT俱知安建設所の山下守人所長様より北海道新幹線工事概要について説明頂き、その後両現場の所長より各工事の概要説明を受けました。その後、落合工事、北上沢工事の坑内を見学致しました。翌日は宿舎ホテルの会議室にて有意義な研修・意見交換が行われました。



工事概要

発注者: (独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 鉄道建設本部 北海道新幹線 建設局(俱知安鉄道建設所)

1) 後志トンネル(落合)工事

トンネル延長 : 本坑L= 4,865m
工事用道路(斜坑)L= 141m
標準掘削断面: 本坑…72㎡～81㎡
工事用道路(斜坑)…30㎡

掘削方式: 発破掘削
ズリ出し : ベルトコンベア方式

覆工 : FILM工法採用
元請 : 大成・佐藤・田中・堀松JV
施工 : 川元建設(株)

2) 後志トンネル(北上沢)工事

トンネル延長 : 本坑L=4,600m
工事用道路(斜坑)L=450m
標準掘削断面: 本坑…76.9㎡～81㎡
工事用道路(斜坑)…30㎡

掘削方式: 発破掘削
ズリ出し : ベルトコンベア方式

覆工 : FILM工法
元請 : 西松・東亜・中山・萩原JV
施工 : 吉田西豊建設(株)

第10回海外視察研修会

平成29年12月2日(土)～7日(木)に高島常務理事団
長他総勢27名でインドネシア共和国にて開催しました。

1. 目的

ゼネコンが今後の施策として海外進出(特に2020年以降)志向を高めており、専門工事業としても、ゼネコンが海外特に東南アジアで工事を受注した場合、現在はスーパーバイザーとしてのみ参加していますが、将来、外国人(東南アジア技能実習生帰国者等)を雇用しての、下請施工の可能性の調査や、日本企業施工のトンネル工事等を視察研修することにより、その国の建設事情等の情報を収集し、会員企業の海外進出の際の一助を目的とするものです。また、海外旅行による会員相互間の親睦及び互惠関係の醸成も大いに期待するものです。



2. 視察研修工事

1) ジャカルタMRT(Mass Rapid Transit)建設工事

i) 南北線一期工事

① 工事延長 15.7km

② 駅舎 高架区間 7駅舎 地下鉄区間 6駅舎

ii) 発注者 PT. MRT Jakarta (MRTJ)

iii) 受注者 ・東急・WIKA JV CP101/102 高架工区

・大林・清水・JAYA JV CP103 高架工区

・清水建設(株)・大林組・WIKA・JAYA JV CP104/105 地下工区

・三井住友建設・HUTAMA KARYA JV CP106 地下工区



ボロブドゥール寺院

2) 視察研修工事

i) CP104/105工区

① 受注者 清水建設(株)・大林組・WIKA・JAYA JV

② 契約方式 設計施工ランプサム契約

③ 契約約款 FIDEC Yellow Book(First Edition)

④ 施工管理 オリエンタルコンサルタンツJV

⑤ 工事概要 地下鉄駅舎;4駅 地下移行部開削トンネル;460m

駅間シールドトンネル;8本 総延長L=5.2km



質疑応答状況

ii) CP106工区

① 受注者 三井住友建設・Hutama Karya JV

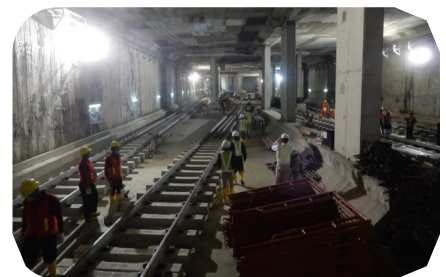
② 契約方式 設計施工ランプサム契約

③ 契約約款 FIDIC Yellow Book (First Edition)

④ 施工管理 オリエンタルコンサルタンツJV

⑤ 工事概要 地下鉄駅舎;2駅

駅間シールドトンネル;4本 総延長L=2.8km



日建連粉じん障害防止対策推進強化月間現場パトロール

当初 平成29年10月23日～24日に実施される予定であった日建連主催の粉じんパトロールは、台風のため函館便が欠航となり、改めて12月18日～19日に北海道新幹線村山トンネル工事(発注者 JRTT北海道新幹線工事極 元請 岩田地崎・熊谷・不動テトラ・相互JV 施工 川元建設(株) トンネル延長 5,365m、ズリ出しベルトコンベア方式)で実施され参加しました。

村山トンネルは、自由断面掘削機で掘削されましたが、湧水が多く、切羽は脆弱で掘削時の粉じん発生は少いとのことでした。このトンネルでは、コンクリート吹付が問題となりますが、集塵機に伸縮吸引ダクトを装備し、粉じん発生源付近で集塵し、粉じんの拡散を極力抑える工夫がされていました。



主旨等説明される竹中日建連本部長



坑内粉じんパトロール状況



自由断面掘削機

合同安全パトロール



(元請所長による工事概要説明)

工事概要

発注者：国土交通省 関東地方整備局
 元請：(株) 竹中土木
 施工：木部建設(株)
 工期：H.28.6～H.30.2
 延長：719.35m

平成29年10月18日に山梨県の中
 部横断城山トンネル(その2)工事に
 て、労務安全衛生委員会の委員と木
 部建設(株)との合同による安全パトロー
 ルが行われました。

国土交通大臣、厚生労働大臣、土地・建設産業局長顕彰受賞

当協会が候補者を推薦致しました平成29年度建設マスター・ジュニアマスター及び安全優良職長の国土交通大臣、土地・建設産業局長及び厚生労働大臣顕彰の受賞が決定し、顕彰式典が開催されました。各受賞者、式典は下記の通りです。

- 建設マスター(優秀施工者)・ジュニアマスター(青年優秀施工者)
 - 受賞者 ① 建設マスター：上杉博貴氏(横山工業(株))
 岸本悦男氏(株)金子組
 - 建設ジュニアマスター：大森一博氏(木部建設(株))
- 式典 開催日時：平成29年10月6日(金) 会場：メルパルクホール(東京都港区)
- 安全優良職長
 - 受賞者 ① 林和生氏(株)児玉組
- 式典 開催日時：平成30年1月15日(月) 会場：厚生労働省講堂(東京都千代田区)



向かって左から岸本氏、上杉氏、大森氏



林氏 謝辞



登録トンネル基幹技能者講習

平成29年11月9日～12日に西日本会場(兵庫県三田市)にて平成29年度第2回登録トンネル基幹技能者講習が開催されました。16名の受講者の修了が承認されました。



氏名	所属組織名	修了証番号
鈴木 康雄	川元建設(株)	第061711-00568号
中野 誠士	木部建設(株)	第061711-00569号
金子 晃洋	(株)ケーテック	第061711-00570号
鎌倉 哲也	(株)ケーテック	第061711-00571号
鷹美 幸則	(株)ケーテック	第061711-00572号
大西 信彦	西行建設(株)	第061711-00573号
狩野 靖之	西行建設(株)	第061711-00574号
谷 孔二	西行建設(株)	第061711-00575号

氏名	所属組織名	修了証番号
堀江 貴行	西行建設(株)	第061707-00556号
小川谷 豊	庄司建設工業(株)	第061707-00557号
杉原 隆幸	(株)すばる建設	第061707-00558号
板野 総輝	山崎建設(株)	第061707-00559号
竹内 雄考	吉田西豊建設(株)	第061707-00560号
濱村 紀勝	吉田西豊建設(株)	第061707-00561号
若山 辰也	吉田西豊建設(株)	第061707-00562号
上野 哲也	吉田直土木(株)	第061707-00563号

協会からのお知らせ【今後の予定】

- 平成29年度第3回登録トンネル基幹技能者更新講習(福岡) 平成30年2月10日
- 平成30年度第11回社員総会 平成30年5月15日
- 平成30年度第1回登録トンネル基幹技能者講習(富士教育訓練センター) 平成30年7月12日～15日
- 平成30年度秋季セミナー・懇親会 平成30年9月14日

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors
日本トンネル専門工事業協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階

TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL : <http://www.tunnel.jp>